

各会計決算を認定

平成20年度決算審査特別委員会

わこう

No. 66
2009

市議会だより

平成21年11月1日 編集・発行/和光市議会議会運営委員会
TEL. 048-464-1111(代)
http://www.city.wako.lg.jp



9月定例会

平成20年度 一般会計決算などを認定

平成21年度9月定例会が8月27日(木)から9月18日(金)までの23日間にわたって開かれました。今定例会は、「指定管理者の指定」をはじめ、市長から報告2件、議案20件及び市民から提出された陳情1件の審議を行いました。最終日には、後期高齢者医療広域連合議会議員選挙が、また、議長辞職に伴い、議長選挙が行われました。そのあらましをお知らせします。

指定管理者を指定

総合福祉会館の4つの施設の指定管理者を次のとおり指定することに可決しました。指定管理期間はいずれも平成22年4月1日から平成27年3月31日までです。

- ・和光市高齢者福祉センター
- ・和光市地域活動支援センター
- ・和光市知的障害者授産施設
- ・和光市社会福祉協議会
- ・和光市精神障害者小規模作業所

特定非営利活動法人 耀の会



和光市副市長定数条例を定めることについて

副市長の定数は、地方自治法第161条第2項により、条例で定めることとなっているため、定数を1人として定めるものです。

和光市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて

改正の主な内容は、上場株式等の配当所得に対する申告分離選択課税制度の創設、土地等にかかる特別控除制度の創設等に伴う関連規定の整備等を行うものです。

和光市国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて

今回の改正は、出産育児一時金の支給額を38万円から4万円引き上げ、42万円とするものです。



平成21年度6会計 補正予算を可決

平成21年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第2号)をはじめ和光市国民健康保険特別会計、和光市後期高齢者医療特別会計、和光市老人保健特別会計、和光市介護特別会計、和光市下水道事業特別会計の補正予算を可決しました。

一般会計補正予算の主な支出は、子育て応援特別手当支給事業9517万円、市内小・中学校地上デジタル放送対応アンテナ工事費3990万円、新型インフルエンザ対策費1079万円、防災行政無線デジタル化変換等工事費5667万円などで、総額3億3100万円となります。

補正予算

総額3億3100万円となります。

平成21年度各会計補正予算額

※千の位は四捨五入

会計名	補正額	補正後の金額	
一般会計	3億3,100万円	212億2,436万円	
特別会計	国民健康保険	7,565万円	58億3,816万円
	後期高齢者医療	303万円	4億1,585万円
	老人保健	4,573万円	5,685万円
	介護保険	1億7,357万円	24億5,657万円

※下水道事業特別会計補正予算は総額に変更ありません。

新議長に野口 保 氏 副議長に荻野 比登美 氏 を選出



荻野副議長 野口議長

9月議会最終日(9月18日)に、山口慶子議長(平成20年9月から議長に就任、1年の間議長を務める)から一身上の都合による辞職願が提出され、同日、議長選挙が行われました。その結果、新議長には野口保副議長が選出され、欠員となった副議長選挙を行った結果、荻野比登美議員が選出されました。これに伴い、議会運営委員会等では、次のとおり委員長等の変更がありました。

- 議会運営委員会
 - ▼委員長/齊藤 克己
 - ▼委員/並木 修二
- 市民建設常任委員会
 - ▼副委員長/西川 政晴



9月11日から16日までの4日間に、市政に対する一般質問が行われました。今回は16名の議員が発言しました。議員の質問の概要は次のとおりです。詳細な質問及び市長以下関係部長の答弁は、11月下旬、市ホームページから見るができます。(発言順)

並木修二

(和光市民ネット)

- ▼マニフェストについて
 - ・それぞれの行程表の内容について
 - ・各年度ごとの所要資金総計と財源について
- ▼土地区画整理事業について
 - ・駅北口土地区画整理事業の進捗状況について
 - ・和光北インター土地区画整理事業の進捗状況について
- ▼公会計について
 - ・新地方公会計制度に基づく財務諸表の作成状況について
- ▼地方分権改革について
 - ・「どうなる地方分権」アンケートの内容と回答について
 - ▼後期高齢者医療制度について
 - ・見直し・廃止が和光市に与える影響について
 - ▼情報公開について
 - ・2008情報公開度ランキングの結果について

須貝郁子

(新しい風)

- ▼道路維持管理
 - ・市道の設計基準作成について
- ▼廃棄物対策
 - ・焼却炉の管理
 - ・長寿命化計画作成と長期保全計画
- ▼定期修繕と維持管理
 - ・廃棄物の資源化
 - ・塩ビ廃棄物の処理
 - ・事業系一般廃棄物の資源化
- ▼障害者計画
 - ・小中学校での対応
 - ・障がいのある児童・生徒とインクルージョン
 - ・支援の具体策
 - ・就労支援の実績と今後の対応について
- ▼職員人事
 - ・長期休職の人数、通院者・カウンセリング受診者人数
 - ・臨時・非常勤特別職の人数と配置

堀文雄

(緑風会)

- ▼総務行政
 - ・市税等の収納状況について
 - ・今年度における市税の収納状況と昨年度
 - ・手数料・保育料・給食費の状況
 - ・入札制度改革の進捗状況
- ▼福祉行政
 - ・市長のマニフェストと高齢者福祉についてどのように変わるのか。又、その具体策
 - ・老人会への加入率と補助の基準
- ▼建設行政
 - ・諏訪越四ツ木線跨線橋の現状と見直しについて
- ▼教育行政
 - ・新設校について
 - ・大和中学校と和光高校の交換について
 - ・教育委員会が新設が必要との結論がでた場合土地の手当の方策

決算審査

特別委員会での主な質疑



定期修繕と維持管理
廃棄物の資源化
塩ビ廃棄物の処理
事業系一般廃棄物の資源化



障害者計画
小中学校での対応
障がいのある児童・生徒とインクルージョン
支援の具体策
就労支援の実績と今後の対応について



職員人事
長期休職の人数、通院者・カウンセリング受診者人数
臨時・非常勤特別職の人数と配置



総務行政
市税等の収納状況について
今年度における市税の収納状況と昨年度
手数料・保育料・給食費の状況
入札制度改革の進捗状況



福祉行政
市長のマニフェストと高齢者福祉についてどのように変わるのか。又、その具体策
老人会への加入率と補助の基準



建設行政
諏訪越四ツ木線跨線橋の現状と見直しについて



教育行政
新設校について
大和中学校と和光高校の交換について
教育委員会が新設が必要との結論がでた場合土地の手当の方策

総合評価方式入札の件数と評価は。

答弁 土木工事で1件行い、技術評価点が低く総合評価値の高いところが落札しました。

アーバンアクア広場整備、設計等業務委託料について。

答弁 県と協定を結び、県は約110億円以上かけ、ふたかけ工事を完了しています。しかし、厳しい社会状況の中、アーバンアクア整備の大幅な縮小をしました。今後、大規模事業検証会議にてこの設計をもとに実施について検討されます。

特色ある学校づくり補助金が減額になって支障はないか。

答弁 学校の特色を出すために非常に有効な費用なので、減額しても維持していきたいと考えています。



国民健康保険特別会計への一般会計からの繰り入れが県内でも7位と上位だが対応について。

答弁 埼玉県下の各自治体では、限度額、税率等の見直しを行っていますが和光市は平成10年から見直しをしていません。今後、検討する必要があると考えています。

介護予防を進めてきた成果は。

答弁 軽度の方は改善がなされ、第3期の最終年度は1,056人ぐらいで推移し、想定よりも低い結果で予防事業の成果と認識しています。

健康増進浴場等利用補助について予算を補正し、その上、予算流用した理由について。

答弁 極楽湯の利用者数が相当増えたということです。今後、限度額の検討も必要かと考えています。

齊藤秀雄

(緑風会)

3

- ▼収納の状況について
 - ・第一四半期の結果について
 - ・固定資産税・都市計画税の収納状況について
 - ・市民税の収入計画との差異について
 - ・収納率及び滞納額について
- ▼区画整理について
 - ・北インター及び、白子三丁目の区画整理事業の、6月以降の進捗状況について
 - ・組合設立時期について
 - ▼市民葬斎場について
 - ・外環上部に葬斎場を建設する事について
 - ・アンケートの趣旨について



村田富士子

(公明党)

4

- ▼防災
 - ・災害時要援護者の避難支援対策への取り組み
 - ・防災リーダーの育成
 - ・学校における避難訓練のあり方
- ▼地域センター
 - ・市内9館構想の進捗状況
 - ・利用にあたっての公平性の確保
- ▼駐輪場対策
 - ・「和光市駅自転車駐車場整備計画」(平成5年3月)策定後の取り組み
 - ・北口区画整理における駐輪場対策
 - ▼新倉学童保育クラブ
 - ・開設までの経緯
 - ・利用状況



荻野比登美

(和光市民ネット)

5

- ▼第四次総合振興計画
 - ・計画策定の基本方針
 - ・行財政改革と組織力の強化
- ▼来年度予算編成
 - ・歳入の見直し
 - ・来年度予算編成方針
 - ・第三次総合振興計画の実施計画と市長マニフェストおよび包括予算の関係
- ▼新設校設置
 - ・市民要望の把握の手法
 - ・教育委員会の答申の内容と今後の進め方
 - ・総合振興計画への反映
 - ・大規模校への当面の対策
 - ・小規模校の対処
- ▼景観計画
 - ・今後の進め方
 - ・実現に向けての保全・創出・規制・誘導
 - ・公共施設の景観アセスメント
 - ・評価制度



須貝郁子

(新しい風)

- ▼道路維持管理
 - ・市道の設計基準作成について
- ▼廃棄物対策
 - ・焼却炉の管理
 - ・長寿命化計画作成と長期保全計画
- ▼定期修繕と維持管理
 - ・廃棄物の資源化
 - ・塩ビ廃棄物の処理
 - ・事業系一般廃棄物の資源化
- ▼障害者計画
 - ・小中学校での対応
 - ・障がいのある児童・生徒とインクルージョン
 - ・支援の具体策
 - ・就労支援の実績と今後の対応について
- ▼職員人事
 - ・長期休職の人数、通院者・カウンセリング受診者人数
 - ・臨時・非常勤特別職の人数と配置

堀文雄

(緑風会)

- ▼総務行政
 - ・市税等の収納状況について
 - ・今年度における市税の収納状況と昨年度
 - ・手数料・保育料・給食費の状況
 - ・入札制度改革の進捗状況
- ▼福祉行政
 - ・市長のマニフェストと高齢者福祉についてどのように変わるのか。又、その具体策
 - ・老人会への加入率と補助の基準
- ▼建設行政
 - ・諏訪越四ツ木線跨線橋の現状と見直しについて
- ▼教育行政
 - ・新設校について
 - ・大和中学校と和光高校の交換について
 - ・教育委員会が新設が必要との結論がでた場合土地の手当の方策

決算審査

特別委員会での主な質疑

滞納状況、納税相談の実態について。
高額の方が継続して滞納し、滞納額が膨らみ大きな割合を占めています。また、昨年10月以降、派遣労働者の失業、年金生活者等の相談から分納が増えています。



定期修繕と維持管理
廃棄物の資源化
塩ビ廃棄物の処理
事業系一般廃棄物の資源化



障害者計画
小中学校での対応
障がいのある児童・生徒とインクルージョン
支援の具体策
就労支援の実績と今後の対応について



職員人事
長期休職の人数、通院者・カウンセリング受診者人数
臨時・非常勤特別職の人数と配置



総務行政
市税等の収納状況について
今年度における市税の収納状況と昨年度
手数料・保育料・給食費の状況
入札制度改革の進捗状況



福祉行政
市長のマニフェストと高齢者福祉についてどのように変わるのか。又、その具体策
老人会への加入率と補助の基準



建設行政
諏訪越四ツ木線跨線橋の現状と見直しについて



教育行政
新設校について
大和中学校と和光高校の交換について
教育委員会が新設が必要との結論がでた場合土地の手当の方策

土木工事で1件行い、技術評価点が低く総合評価値の高いところが落札しました。

県と協定を結び、県は約110億円以上かけ、ふたかけ工事を完了しています。しかし、厳しい社会状況の中、アーバンアクア整備の大幅な縮小をしました。今後、大規模事業検証会議にてこの設計をもとに実施について検討されます。

学校の特色を出すために非常に有効な費用なので、減額しても維持していきたいと考えています。

埼玉県下の各自治体では、限度額、税率等の見直しを行っていますが和光市は平成10年から見直しをしていません。今後、検討する必要があると考えています。

軽度の方は改善がなされ、第3期の最終年度は1,056人ぐらいで推移し、想定よりも低い結果で予防事業の成果と認識しています。

極楽湯の利用者数が相当増えたということです。今後、限度額の検討も必要かと考えています。

山本軍四郎

(社会民主党)

▼定額給付金について

住民基本台帳では、「同世帯なら受給できるが死亡した人が単身世帯の場合受給できない。」このようなケースが和光市であったのか。その後の取り扱いについて

▼自治体職員勤務について

職員数と平均年収、全体職員との割合についてなど

▼建設関係について

・一般県道と光志木線冠水注意の表示があるが、冠水があったのか
・市道475号線、鉄道ガード下通路は自転車通行可になっているのか

▼教育関係について

各種学校の入学案内について



熊谷二郎

(日本共産党)

▼教育行政

・中学校使用教科書の採択について
・学校選択自由化と小中一貫校の問題点

▼水道行政

・PCインストラクター、図書館アドバイザーの継続を

▼水道行政

ハツ場ダム建設と市の関係について

▼市民生活

・選挙権の行使の保障を
・投票券の配布を早めに選挙人のもとに

▼環境行政

・期日前投票所の増設を
・公園の除草及び樹木の刈り込み計画について



上野君子

(日本共産党)

▼環境問題について

白子1丁目1番工場跡地の土壌汚染について、経緯と今後の対応について

▼新型インフルエンザ対策

市民の命と健康を守るための今後の対策について

▼子育て支援について

子ども医療費助成の拡大について
子どもは等しく大切に育てるべき、そのためにも税の完納条件は撤回を

▼福祉行政について

障がい者支援の今後について
卒業後の進路(受け入れ先)について

▼平和行政について

憲法9条と核兵器廃絶について市長の見解
平和事業の実績と参加者の感想等

▼新設校について

検討委員会の論議と結果等
新設校設置の計画と具体化

▼福祉行政の充実について

介護保険制度の軽度化の問題
必要な介護サービスの実施と政府の見直し

▼下水道事業について

企業会計の問題
下水道使用料の見直し

▼市民葬斎場の建設について

これまで積み上げてきた計画
ハコモノ見直しの考え方

井上航

(新しい風)

▼工事検査について

検査業務の実情
どのような指摘事項があったか

▼工事の設計変更について

具体的な事例
変更基準
安易な変更を防ぐ

▼専門人材の活用について

基本的な考え方
今後の採用職種と採用基準

▼駅南口広場施設整備に併せた交通課題の解決について

駅前交差点の右折対策
広場からのスムーズな出発を



阿部かをる

(公明党)

▼大規模事業検証会議

構成人員を10人とした理由
対象事業を7事業とした理由
各事業の資料、情報提供の仕方

(すべての事業の基本的として市の財政状況をわかりやすく説明する必要がある)

▼市民まつり

緑のまつりの活性化(フリーマーケットの同時開催を)

▼公共施設美化サポーター

応募要件、「おおむね10人以上で組織された団体」構成人員の見直しを



吉田けさみ

(日本共産党)

▼行財政運営について

事業仕分けの内容と住民要求について
第四次総合振興計画とめざすまちづくりについて

▼国民健康保険税と医療について

国保税滞納者問題と税負担について
生活に困窮する国民健康保険の被保険者の一部負担金の減免について

▼保育行政について

国の保育改革と公的責任の確保について
待機児解消と保育園建設について

▼ごみ問題について

ごみ減量と焼却炉建設
設計画について



委員会

委員会の指摘事項

1 予算編成を厳格に行い、予算流用は極力避け、適切な会計処理に努めること

2 不用額については、補正を含め適切な執行に努めること

3 補助金の交付に当たっては、運営補助から事業補助への転換に努めること

4 市税等の収納については、さらなる収納率向上に努めること。また、収納方法については、対象者の生活実態に配慮しながら対応すること

5 入札等の契約制度については、継続的に改善を図ること



答弁 勤労青少年ホームの処理機の点検です。登録世帯は91世帯。平成20年度の実績は5,399.54kgを投入。費用対効果は余りよくないと感じています。

質問 市民農園は充足しているのか。

答弁 拡充に向けご要望が多く寄せられていますので、農地の提供があれば拡充していきたくと考えております。

質問 一般国道254号和光川越間バイパス建設促進期成同盟会負担金を負担しているが工事の進捗状況は。

答弁 第1期整備区間の松ノ木島から県道朝霞蔵線のところまでは、来年の春開通の予定です。

斉藤克己

(公明党)

▼交通対策

和光市駅の安全対策の推進状況
ホームドアや駅構内の安全対策

▼公衆衛生

新型インフルエンザ対策
市長マニフェストについて

▼企画推進

実行計画
実施計画との関係、費用負担の積算

▼教育関連

・学校新設について
・適正配置・適正規模等検討委員会の推移と答申について
・市長部局との連携
・学童保育(1年の他学区への通所)
・現在の不況下における入学準備金の拡充



野口保

(緑風会)

▼契約問題

契約制度について
・入札制度
・適正応札
・市内業者支援

▼道路問題

狭隘道路解消について
・道路整備計画の進捗
・歩道の拡幅

▼少子化問題

3人乗り自転車対策



議案の結果

今定例会で審議された議案の採決結果です。
報告・人事案件は除きます。

○ : 賛成
× : 反対



今議会に提出された陳情は1件でした。

陳情

平成21年9月定例会

市長提出議案	会派名	緑風会	日本共産党	公明党	新しい風	和光市民ネット	民主党	社会民主党	議決結果
和光市副市長定数条例を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	×	○	○	○	○	×	原案可決
和光市国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市高齢者福祉センターの管理を行わせる指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市地域活動支援センターの管理を行わせる指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市知的障害者授産施設の管理を行わせる指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市精神障害者小規模作業所の管理を行わせる指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市老人保健特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市下水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度埼玉県和光市一般会計歳入歳出決算の認定について		○	×	○	○	○	○	×	認定
平成20年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	×	○	○	○	○	×	認定
平成20年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		○	×	○	○	○	○	×	認定
平成20年度埼玉県和光市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	認定
平成20年度埼玉県和光市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	×	○	○	○	○	×	認定
平成20年度埼玉県和光市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	×	○	○	○	○	○	認定
平成20年度埼玉県和光市水道事業決算の認定について		○	×	○	○	○	○	○	認定
【陳情】		緑	共	公	風	市	民	社	
子どもの医療費助成制度年齢拡大の早期実施を求める陳情		○	×	○	○	○	○	×	継続審査



■陳情第8号
子どもの医療費助成制度年齢拡大の早期実施を求める陳情
(継続審査)
子どもの医療費の助成を通院は小学校卒業まで、入院は中学校卒業までを一日も早く実施して下さい。なお、条件は付けずに対象の年齢は平等に行って下さい。

報告事項

報告2件を受理しました。

平成20年度決算に係る財政健全化比率及び資金不足比率の報告について
平成20年度決算の確定に伴い、当該予算に係る財政健全化比率が確定しました。和光市は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれも健全であり、改善を要する事項はないことが報告されました。



南浄水場



南浄水場監視制御盤

継続費の精算報告について
(水道事業会計)
和光市南浄水場監視制御設備等更新事業について、継続費に係る継続年度が終了したので事業の精算が報告されました。

聴覚障害のある方へ

本会議の傍聴を手話通訳、要約筆記でどうぞ



耳の不自由な方で本会議の傍聴を希望される方には、手話通訳者または要約筆記者を手配することができます。

(派遣費用は無料です)

傍聴をご希望の方は、あらかじめ議会事務局庶務担当へご連絡ください。

■ FAX 番号 463-2835

■ Eメール: i0101@city.wako.lg.jp

会派構成

緑風会 堀、栗原、田中、齊藤(秀)
日本共産党 佐久間、吉田、熊谷、上野
公明党 阿部、山口、村田、斉藤(克)
新しい風 須貝、井上、西川
和光市民ネット 荻野、並木
民主党 菅原
社会民主党 山本
議長: 野口(会派に属せず)

編集委員会

■委員長 齊藤 克己
■副委員長 吉田けさみ
■委員 並木 修二 齊藤 秀雄
井上 航
荻野比登美 菅原 満
山本軍四郎

12月定例会の開催予定

11月 26日(木) 本議会開会
1日(火) 議案質疑
12月 2日(水) 常任委員会
3~9日 一般質問
11日(金) 本議会閉会

※正式な日程は11月20日(金)開催の議会運営委員会で決定する予定です。

※請願・陳情の締め切りは11月20日(金)午後3時の予定です。



詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

議事調査担当
電話 424-9108

「市議会のしおり」は、11月下旬に発行予定です。